

伊集院保健所感染症情報

2025年第22週（令和7年5月26日～令和7年6月1日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，伝染性紅斑

管内流行発生注意報発令中：水痘

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第19週	第20週	第21週	第22週	先週からの増減	第21週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	110.50	176.50	127.00	165.50	↗	67.11	↘
インフルエンザ	30	10	10	0.50	0.50	0.50	0.50	→	1.18	↗
COVID-19	—	—	—	0.00	2.50	1.00	0.00	↘	0.56	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	6.00	10.00	4.00	3.00	↘	1.45	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	6.00	10.00	11.00	13.00	↗	2.55	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	5.00	7.00	6.00	2.00	↘	9.48	↘
水痘	2	1	1	0.00	1.00	1.00	1.00	→	0.29	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.26	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	2.00	4.00	3.00	↘	0.77	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.52	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.13	↗
RSウイルス感染症	—	—	—	3.00	1.00	2.00	0.00	↘	0.48	↗
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			百日咳3（11）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC 令和7年度から65歳以上の方を対象に

帯状疱疹ワクチンの定期接種を行っています。

帯状発疹とは、

- 水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が現れる皮膚の病気です。
- 合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。

定期接種の対象

- ①年度内に65歳を迎える方
- ②60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

（注1）令和7年度から5年間（令和11年度まで）の経過措置として、その年度に70，75，80，85，90，95，100歳になる方も対象となります。

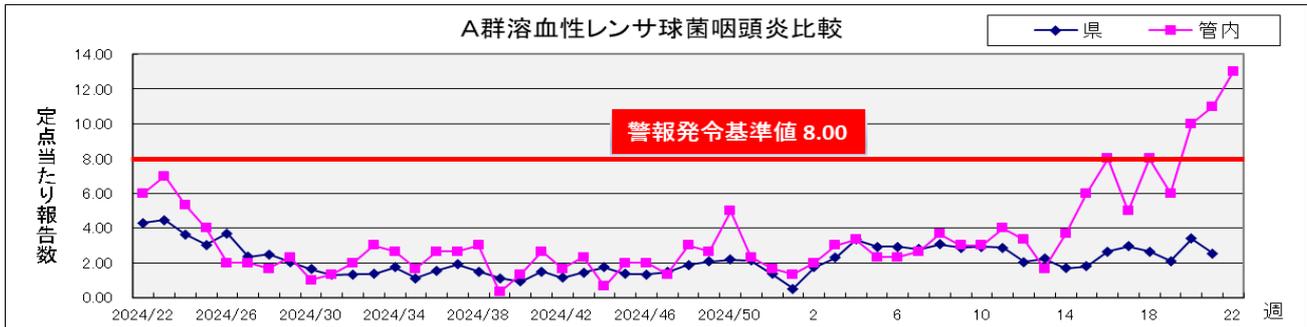
（注2）令和7年度に限り、100歳以上の方は全員対象となります。

ワクチンを接種する方法と費用

- 定期接種はお住まいの（住民票のある）市町村で実施されます。ワクチンを接種できる医療機関や費用などについては、お住まいの市町村にお問い合わせください。

● 注意すべき感染症

● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



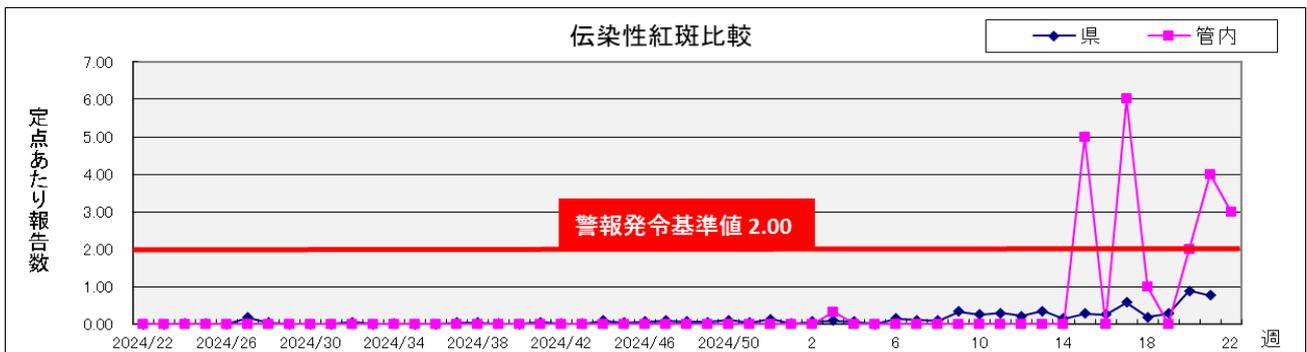
第22週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、13人でした。年齢別では、4歳・5歳(各3人)、3歳(2人)、2歳・6歳・7歳・9歳・10～14歳(各1名)の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

● 伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第22週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、3人でした。年齢別では、1歳・5歳・7歳(各1人)の報告でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹(紅斑)が現れます。発疹は1週間程度で消失します。

感染経路は、感染した人の咳のしぶき(飛まつ)を吸い込むことによる感染(飛まつ感染)や、感染者と接触したりすることによる感染(接触感染)です。

伝染性紅斑に感染したことの無い女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 5/26～6/1 (出典：学校等欠席者・感染症情報システム)

今週の出席停止は、百日咳8人、感染性胃腸炎が1人、溶連菌感染症2人、マイコプラズマ感染症6人、COVID-19が1人報告されています。

自治体名	疾患名	百日咳	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナウイルス感染症
日置市		4	0	2	5	1
いちき串木野市		4	1	0	1	0
三島村		0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0
計		8	1	2	6	1